

第41回理学療法士作業療法士国家試験問題
適切でないと思われる問題

(平成18年3月5日実施)

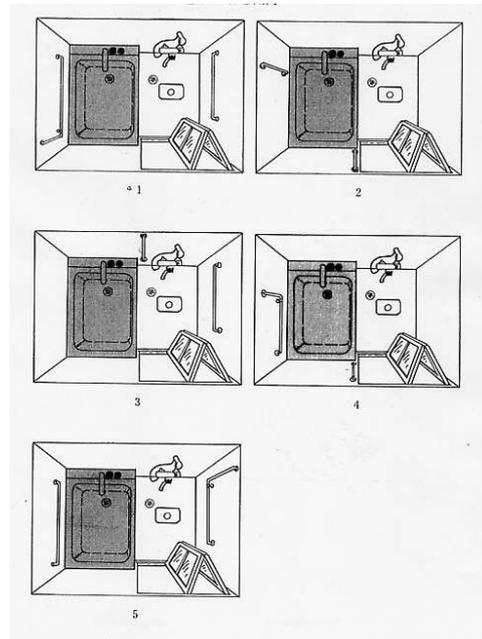
専門問題

問題番号 (23)

問題23

1年前に右大腿骨頸部骨折の既往のある患者から「最近、立ち上がりにくくなった」と自宅浴室の手すり設置の相談を受けた。

設置する手すりの組み合わせで適切なのはどれか。



解：解なし

理由

立ち上がりのための縦手すりが必要だが、浴槽での立ち上がり、洗い場での立ち上がりの二つを満たす条件がない。よって選択肢からは解を選択できない。

参考とする文献

- 1) 野村 歡 監修：事例で見る住宅改修の実際。中央法規出版，pp29，2002.
- 2) 石川 齊 他編：図解作業療法技術ガイド第2版。文光堂，pp833，2004.
- 3) 東京商工会議所 編：福祉住環境コーディネーター検定2級テキスト改訂版。東京商工会議所，P215，2001.
- 4) 伊藤利之 他編：地域リハビリテーションマニュアル。三輪書店，pp104，2000.

第41回理学療法士作業療法士国家試験問題
適切でないと思われる問題

(平成18年3月5日実施)

専門問題	問題番号 (50)
<p>問題50 外傷性脳損傷のADLの予後と関連しないのはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 昏睡の期間2. 除皮質肢位の有無3. 外傷性健忘の期間4. 共同性注視障害の有無5. 半盲の有無 <p>解：解なし</p>	
<p>理由</p> <p>文献1)より、選択肢1、3は関連する。文献2)より選択肢4、5は関連する。文献3)より、除皮質肢位が有るということは、皮質と皮質下との連絡が断たれているため、ADLに関連すると判断できる。よって、選択肢からは解を選択できない。</p>	
<p>参考とする文献</p> <ol style="list-style-type: none">1) 社団法人日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書第4巻. 協同医書出版, pp57, 1999.2) 福井圀彦他 編：脳卒中最前線第3版. 医歯薬出版, pp340, 2003.3) 関野宏明他 監修：脳・神経疾患. 学習研究社, pp36, 2002.	